



九大病院だより

九州大学病院 広報委員会発行

■胸部大動脈瘤に対するステントグラフト治療

胸部大動脈瘤と新しい治療法

大動脈瘤とは、心臓から全身に血液を送る大動脈が、動脈硬化などが原因で拡大した状態です。胸部大動脈瘤においては多くの場合、破裂するまで無症状ですが、いったん破裂すると80パーセント以上の死亡率を誇る恐ろしい病気です。

かつてこの病気に対しては、人工心肺装置を用いた人工血管置換術が唯一の治療法でした。治療成績は年々向上していますが、身体への負担が大きく、高齢者や、心臓や肺、脳などに合併症をもつ方々には手術が行えない場合もあります。心臓血管外科ではそのような方々にも対応すべく、新しい治療法としてステントグラフト手術を積極的に行っています。

身体に負担の少ないステントグラフト手術

ステントグラフト手術とは、人工血管とバネ状の金属とを組み合わせたものを、足の付け根またはお腹の動脈から挿入し、レントゲンを見ながら動脈瘤に蓋をする形で留置する方法です。動脈瘤に血圧がかからない状態とし、動脈瘤の拡大や破裂を防ぎます(図1)。

この方法は、身体への負担が少ないことが最大の利点です。ただ、胸部大動脈には脳に向かう分枝があり、動脈瘤の位置によっては、どうしても使用困難な場合があります。そのような場合には、頭や首の血管にバイパスを行ったり、人工血管置換術と組み合わせる方法(ハイブリッド手術)で対応しています(図2)。

患者さんの病状や希望に応じた治療法の選択

九州大学病院心臓血管外科では、平成20年にこの治療法を開始して以来、40名近くの患者さんにこの治療を受けていただきましたが、新しい治療法ですので、長期の成績などまだ不明な点があります。当科では、年齢や体力に応じて、また各人の希望に応じて、安全に治療を行うことを第一に考え、手術方法を選択しています。

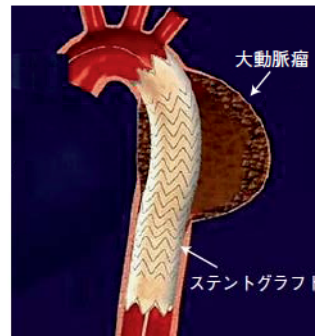


図1 ステントグラフト手術

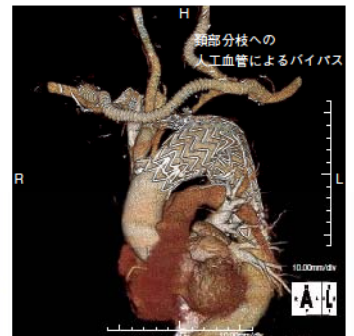


図2 頸部分枝への人工血管によるバイパス

胸部大動脈瘤に対する ステントグラフト治療についてのお問い合わせ

◎心臓血管外科 TEL 092-642-5565

診察日：月・水・木(要紹介状 ※木曜は要予約)

エッセイ
Essay



痛くない、 こわくない歯科治療

歯科麻酔科

よこ やま たけ し
横山 武志

Takeshi Yokoyama

歯の痛みは、もっとも不快な痛みの一つです。局所麻酔の注射や削られる感覚などが嫌で、治療がこわいという方もたくさんいらっしゃいます。まして小さなお子さんにとっては、歯の治療はとてもこわいものです。なかなかおとなしく受けることはできません。また、病気や障害があると、近所の歯

科医院では治療を受けられないこともあります。しかし、たとえ歯の痛みであっても、放置するともっと重篤な病気につながるかもしれません。

19世紀のアメリカで、歯科医師モートンによる初めての全身麻酔が報告されました。これにより、近代医学の中で痛みを取り除く手段としての「麻酔」という扉が開かれました。

歯科麻酔科では、「麻酔」の技術を用いて、口腔外科手術を安全に受けさせていただくための麻酔管理や、口腔領域の不快な痛みを軽減するための慢性疼痛治療を行なっています。

他の診療科に協力して、意識があるままでは歯科治療を受けることができない方に、眠ったまま治療が受けられる全身麻酔や、不安を軽減してリラックスした状態で治療が受けられる静脈内鎮静法も提供しています。

ご興味のある方はお気軽に主治医にお問合わせください。

▶▶▶ 診療科(センター)のご案内 ①

再生歯科・インプラントセンター

再生歯科インプラントセンターでは、加齢や事故などで歯を失った場合、義歯がどうしても使えない場合、歯がグラグラする場合などに対して、歯科インプラントによる補綴治療、骨増生などのインプラント前外科処置、歯周組織の再生治療などの最新治療や歯科インプラント治療後のメンテナンス治療を行っています。

患者さんの口腔内状況に合わせて、十分なインフォームドコンセントを行い、口腔外科、補綴科、歯周病科、歯内治療科、歯科麻酔科、口腔画像診断科の専門スタッフが十分にディスカッションを行って、最適な治療法を選択し、チームアプローチで診療に取り組んでいます。

高齢の方、全身疾患のある方、インプラント治療などに対して不安の強い方でも安心して治療を受けられますので、ご遠慮なくご相談ください。

再生歯科・インプラントセンター：<http://www.rdic.hosp.kyushu-u.ac.jp/>



インプラント手術風景

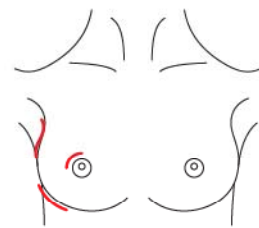
▶▶▶ 診療科のご案内 ②

乳腺外科(2)

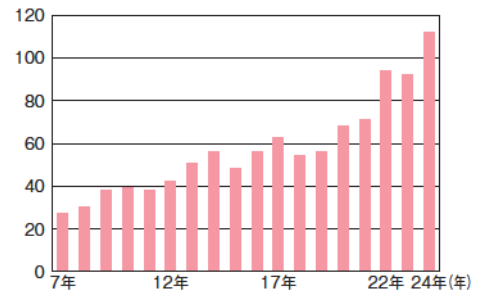
当科では乳がんや乳腺の良性腫瘍などの診断や手術、乳がんの術前・術後の薬物治療、再発患者さんの治療とケアを行っています。高い水準での診断・治療を行うとともに、患者さんとご家族への思いやりを忘れることのない優しい診療と、さまざまな分野・職種の専門スタッフと連携した質の高いチーム医療を心がけています。

乳がんの患者さんは年々増えています。治療にあたっては病気の進行度、乳がんの性質、患者さんの希望を十分考慮し、個々の患者さんにとって最善の手術法(乳房温存術、乳房切除術、センチネルリンパ節生検など)や薬物療法(ホルモン療法や抗がん剤治療など)を選択できるように努めています。また、できるだけ目立たない傷で変形の少ない手術を目指しています。

乳腺外科(2)：<http://www.kyudai2geka.com>



小さく目立たない傷での手術



当科での乳がん手術数の変遷

■連載 コメディカルを紹介します[9]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

総合周産期母子医療センター(助産師・看護師)

総合周産期母子医療センターでは、母性胎児部門、新生児内科部門、新生児外科部門の3部門の専門スタッフが協力して、出産と赤ちゃんに関する診療・看護を行っています。センターで業務している助産師、看護師はおもにピンクのユニフォームを着用しています。母性胎児部門では妊婦さんご自身、または赤ちゃんに病気がある妊婦さんの妊娠中、出産時、産後の看護、新生児部門では早産児やさまざまな病気の新生児・乳児の看護がおもな業務です。

妊婦さんが安心して出産ができるように、また子育ての不安が軽減するように精神的支援、育児支援、在宅療養支援も行っています。



歯科人間ドック

口腔総合診療科 増田 啓太郎

歯科人間ドックは、口腔内の病気を発見するだけでなく、生涯自分の歯で噛み、健康で快適な生活を過ごすための基礎となる医療を目指しています。

今までの歯科治療は、発症した病気の対症療法が中心でした。これからの歯科治療は痛くなる前に病気の発症を予見する早期発見・早期予防の時代へと変わりつつあります。多くの人を悩ませている虫歯や歯周病に対して様々な治療が行われていますが、早期発見によって予防や進行の抑制が可能です。

歯科ドックによって現在の口の状態をチェックし、その情報をもとに口の健康を維持・増進し、食べる楽しみや、人目を気にせず笑える快適な生活を送れるようにすることができます。

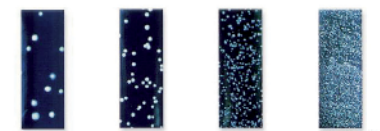
基本コースは簡単な口の検査や歯周ポケット診査、レントゲン検査、唾液を採取して行う虫歯菌の培養検査、口腔がんの診査などがあり、虫歯や歯周病のリスクを調べて、健全なお口の環境づくりのお手伝いをします。

口臭検査やあごの関節検査など各種オプションもあり、当院専門科への紹介を含めた治療や予防法などを詳しく説明しますので、お気軽にご相談ください。

連鎖球菌(虫歯菌)培養検査



乳酸桿菌(虫歯菌)培養検査



唾液から虫歯菌を培養してリスク診断



各分野専門の歯科医師が検査を担当

九州大学病院別府病院 のご紹介

診療録管理室

九州大学病院別府病院の診療録管理室では、日々の診療で発生した各種情報の点検・管理を行い、それらを整理・分析し、医療の現場で活用できるように、適切な管理体制と環境づくりを行っています。

診療情報は大切な個人情報であり、個人情報保護に十分に配慮し、法的ルールに基づいて作成・保存される必要があります。

別府病院では平成25年1月1日の電子カルテの導入により、新しいシステムに対応して法的な位置付けを基盤としながら、大切な情報を慎重に取り扱い、かつ迅速に患者さんに質の高い医療を提供できるように日々の業務を行っています。



■地下鉄「馬出九大病院前」出入口新設のご案内

福岡市営地下鉄「馬出九大病院前」から、九州大学病院キャンパスへと続く地下通路が整備され、病院東門前地下通路出入口が、平成25年3月28日午後より運用開始となる予定です。

地下通路整備事業のコンセプトは「利用者にやさしい歩行空間の整備！」となっております。

- ・雨に濡れない歩行空間の確保
- ・強い日差しから身を守る歩行空間の確保
- ・高齢者の方などが安心して往来できる歩行空間
- ・地元地域の皆様方の安全・安心のまちづくりの推進に寄与を目標として整備されました。

地下通路の完成により、東門前の交差点を横断する必要がなくなるため、より安全に九州大学病院へ来院いただけるようになります。



地下通路出入口完成イメージ図



地下通路完成イメージ図

※実際の建物とは異なる場合があります

外来診療日一覧

今号の一覧表は、4月1日付変更の情報も掲載されています

- 休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)
- 初診受付時間 8:30-11:00(窓口)
- 再診受付時間 8:15-17:00(自動再来受付機)、8:20-17:00(窓口)
- 外来玄関開閉時間 7:30-18:00

■ 外来診療棟

階	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 092-642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 092-642-5388	月・水・金 ※要紹介状	月・火・水・金
	外科 ●消化管外科(1) ●胆道・脾臓・脾臓移植・腎臓移植外科 ●呼吸器外科(1) ●乳腺外科(1) ●内分泌外科 TEL 092-642-5453	火・木	火・木
	外科 ●消化管外科(2) ●肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 ●呼吸器外科(2) ●乳腺外科(2) ●血管外科 TEL 092-642-5479	月・水・金	月・水・金
4階/東	先端工医学診療部 TEL 092-642-5993	月・水・金	月・水・金
	産科 TEL 092-642-5900 婦人科 TEL 092-642-5409 ペインクリニック(麻酔科蘇生科) TEL 092-642-5719	月・金 ※要紹介状	月・金
4階/東第2	再生歯科・インプラントセンター TEL 092-642-6361	月・金	月・金
3階/西	内科 ●血液・腫瘍内科 ●免疫・膠原病・感染症内科 ●消化管内科 ●腎・高血圧・脳血管内科 ●内分泌代謝・糖尿病内科 ●肝臓・脾臓・胆道内科 TEL 092-642-5302	月・金 ※専門の疾患によって曜日異なります。お問い合わせの上お越しください。 ※要紹介状	月・金
	先端分子・細胞治療科 TEL 092-642-5302, 5996	月・金	月・金
3階/東	ハートセンター外来 TEL 092-642-5371 TEL 092-642-5565 ①循環器内科 ②血液・腫瘍内科(心臓血管グループ) ③心臓血管外科	①月・木 ②火・水・金 ③月・水・木 ※要紹介状	①月・水 ②火・金 ③火・木
	皮膚科 TEL 092-642-5597	月・水・金 ※要紹介状	火・木
	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 092-642-5681	火・木	月・水・金

※赤色の曜日は予約が必要です。

※電話予約受付時間14:00-16:00 予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください。

※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,150円が必要となることがあります。あらかじめ各診療科外来にお確かめ願います。

■ 北棟

階	診療科名	初診日	再診日
5階/西	小児科 TEL 092-642-5430	月・金 ※専門医が診療できない場合があります。 ※要紹介状	月・金
	小児外科、小腸移植外科 TEL 092-642-5578	月・水・金	月・水・金
	臨床遺伝医療部 TEL 092-642-5421	月・金	金
	小児歯科・スペシャルニーズ歯科 TEL 092-642-6465	月・金	月・金
	矯正歯科 TEL 092-642-6460	月・金	月・金
5階/東	全身管理歯科 TEL 092-642-6483	月・金	月・金
	顎口腔外科 TEL 092-642-6445	月・金	月・金
	顔面口腔外科 TEL 092-642-6450	月・金	月・金
	歯科麻酔科 TEL 092-642-6479	月・金	月・金
4階/西	歯周病科 TEL 092-642-6425	月・金	月・金
	歯内治療科 TEL 092-642-6430	月・金	月・金
	咬合補綴科 TEL 092-642-6435	月・金	月・金
	義歯補綴科 TEL 092-642-6440	月・金	月・金
4階/東	歯科総合予診 TEL 092-642-6500	月・金	月・金
	口腔画像診断科 TEL 092-642-6471	月・金	月・金
	口腔総合診療科 TEL 092-642-6490	月・金	月・金

平成25年4月現在

■ 人間ドック(先進予防医療センター)

TEL 092-642-5746(月・全、8:30-17:00、要予約)

■ 病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の提示がない場合には、保険での取扱いができません。

■ 外来患者さんへ

◎本院のお薬は原則として「院外処方」としています。

「院外処方せん発行」にご協力ください。

◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

■ 病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■ 基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

TEL 092-641-1151[代表] FAX 092-642-5146[外来]
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号
(ホームページ) <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>

携帯電話からも九州大学病院ホームページの診療案内・診療口案内・交通案内が閲覧できます。